

6月市議会がはじまります

市民のくらしを守り、応援する川口へ

日本共産党市議団がみなさんの声を市政に届けて頑張ります

5月30日に6月市議会定例会の告示がされました。
6月1日に議会運営委員会が開催され、6月市議会の日程と一般質問日が決まりましたので予定をお知らせします。

6月 市議会 日程

6月6日(火)	開会
15日(木)	一般質問 15時から 板橋博美議員
16日(金)	一般質問
19日(月)	一般質問
20日(火)	一般質問 10時から ふじしまともこ議員
21日(水)	一般質問
23日(金)	常任委員会 (建設消防:ふじしまともこ議員) (総務:金子ゆきひろ議員)
26日(月)	常任委員会 (福祉保健:松本さちえ議員) (環境経済文教:板橋ひろみ議員)
29日(木)	閉会

議会は10時から始まります。傍聴できますので、是非、議会までお出かけください。
外出が難しい方はパソコンやスマートフォンなどの端末からも、インターネット中継でご覧いただけます。

6月市議会では、令和5年度一般会計補正予算として21億6036万3千円が増額する予算議案が1件、また、一般議案では27件が提案される予定です。

そのうち、川口市役所の新庁舎2期棟の建設工事として、電気工・空調設備工事・衛生設備工事の契約議案、消防自動車の更新のため消防ポンプ車1台、支援車1台、高規格救急自動車2台と消防団用のポンプ車として3台を更新するための財産の取得議案、さらに公立保育所の指定管理者の更新のため、並木南保育所・神根保育所・戸塚のぞみ保育園・戸塚しらぎく保育園の、指定管理者の指定議案も審議される予定となっています。

補正予算の主なものでは、物価高騰対策として令和4年度に引き続き地方創生臨時交付金を活用した対策が講じられる内容となっています。

具体的には

- 学校給食費保護者負担軽減のための食材購入費用の差額負担
- 新たにキャッシュレス決済によるポイント還元事業
- 特別高圧受変電事業者となる市内中小企業への補助金
- 介護保険や障害者各事業や保育所・こども園・幼稚園などへの補助金などが計上されます。

そのほか結婚新生活支援事業が川口市でも実施されます。

継続費では、物価高騰のためグリーンセンター再整備(第2工区)や(仮称)西川口・横曾根公民館建て替え事業の事業費に影響があり、事業費が増額される見直しなどもそれぞれ審議されます。

みなさんから寄せられた声をしっかりと市政に届け、
くらしを守り、安心して住み続けられる川口市にするために頑張ります。

新川口

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2023年6月4日 No.1701

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

知っ得情報 < ご存じですか? > 川口市のヤングケアラー支援

①ヤングケアラー相談専用ダイヤル

家族のケアをすることでの悩みや心配がある子どもや、ヤングケアラーかもしれない子がいて心配なことからのご連絡をお受けいたします。

電話／048-258-1111

受付時間／月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)8時30分から17時15分

②ヤングケアラー家事等支援事業

家事などを担っていることにより、勉強に集中できない、部活動に参加できない、友達とのコミュニケーションの時間が確保できない場合に、ヤングケアラーが担っている家事等を代わりに行う訪問員を派遣します。

☆対象／川口市に住所を有する18歳(18歳に達する日以後の3月31日まで)までのヤングケアラーの家庭

☆料金／無料

③家族のケアをする子ども応援金事業(ヤングケアラー支援金)

家族のケアを日常的に担っているヤングケアラーの今とこれからを支援するため、「家族のケアをする子ども応援金」を支給します。日常の悩みやケアの悩みなどを相談するための通信機器の購入や通信費として、部活動や学校生活のために必要な用具等の購入費として、進学や就職など、将来の自分のため。

☆対象／川口市に住所を有する18歳(18歳に達する日以後の3月31日まで)までのヤングケアラー

☆支給額／小学生・中学生 月額5,000円、高校生 月額15,000円

※応援金は、ヤングケアラー本人名義の口座に振り込み

【支給開始までの流れ】

ヤングケアラー相談専用ダイヤルまたは、子育て相談課(家庭児童相談室)にご相談ください。

お問い合わせは

子育て相談課子ども家庭相談係(家庭児童相談室)
電話／048-259-9005(直通)

「川口市平和都市宣言」文を 市役所、公民館などに常時掲示を

5月23日、原水爆禁止川口市協議会と原水爆禁止鳩ヶ谷地域協議会が、奥ノ木信夫市長に対する「平和事業の推進を求める要望書」を提出、担当課長が受け取りました。

原水爆禁止鳩ヶ谷地域協議会理事でもある金子幸弘市議も同席しました。



要望

◎独立した地方自治体の首長として、川口市民の命と財産を守る責任のある貴職も「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に賛同・署名をしてください。また、市役所・公民館などの公共施設や平和展会場に署名用紙を置いて、市民に署名を呼び掛けてください。

◎市役所・公民館などの公共施設に「川口市平和都市宣言」文を常時掲示することやさまざまな平和事業を通じて、そのすばらしい「宣言」の理念をさらに広く市民に伝えてください。

◎市民に被爆の実相を広めてください。そのために、市平和展の期間延長、宣伝強化とともに「被爆体験を聞く会」など内容の充実に努めてください。なお、多くの市民の目にふれていただくためにも、原爆パネル展示を例えば市役所2階入口付近などにて行ってください。また、以前市教育委員会が初任者教員に対して行った被爆体験を聞く研修会などは素晴らしい取り組みですのでぜひ今後毎年行ってください。

◎国民平和大行進に対して、毎年貴職による賛同署名をペナントにご記入いただいておりますが、募金についてもぜひご協力ください。また、出発集会またはペナント受け取りの場などにおいて、貴職からのあいさつまたはメッセージをお願いします。

◎今年も市のご理解とご協力をいただいて市役所本庁舎1階多目的ルームにて私たちが開催する「原爆と人間」展について、市の広報などで幅広く市民に宣伝してください。